

- * 裸足でも歩け、座り込んでの実験や会話もできることを配慮して、大きな窓のあるサブアリーナ(約バスケットコート of の広さ)を使用。
- * 広報活動:・先のスタッフ募集とともに概ねの内容を町民にアピール。小中校生を対象にPTA経由で各校全員にチラシの配布。新聞取材と記事の掲載。
- * 予算の措置:・イベントに直接関わる経費(材料費・旅費等)は、20万円。昼食・交流会(夕食)に関わる経費は、10万円。
- * 資金および協賛:・資金はライオンズクラブおよび青年団体より助成。商社等の協賛スタイルとしてはスタッフとして参加していただき宿泊・看板・印刷等で特別の便宜を計らっていただいた。
- * 会場・設備は町教育委員会より無料提供。



3. 開 催

親子連れでの来場を期待して、土曜日は15～19時、日曜日は10～14時という時間帯で2日日程とした。運動会開催時期と重なる日程にも関わらず、土曜日の開場時には100名以上の小学生が1時間前から入り口前で待機していた。高校サポーターのカウンタダウンに合わせて一斉に入場しての華々しい開催となった。終了時間まで多くの人で会場はにぎわった。2日目は町内4小学校のうち3校の運動会とぶつかり、予想どおり前日ほどのにぎわいとはならなかったけれど、スタッフ・サポーターが互いのコーナーを訪ねながら交流するチャンスもあり好評であった。それでも会場内の入場は常時50人以上の人がいて、その

盛況さをみんなで驚いていた。人手不足で入場者数の把握は行えなかったが、会場案内チラシの数から推測して500名以上の方々に入場参加いただいたと思う。

* テーマブースのタイトル (30ブース)

ホバークラフト体験試乗/人力発電でテレビを見る
 パイプホン/ー 196℃の世界/命の秘密 DNA
 トルネードサイエンス/ブラックライトの不思議
 光のマジック・偏光/LSIの正体/声や音を見よう
 耳の中で音はどうなるの/巨大シャボン玉
 コロリン缶/立体めがね/バランストンボ
 輪ゴム鉄砲/空気砲/虹を見よう/うなるパイプ
 エコマイク/ドライアイス鉄砲/冷たい沸騰
 スーパージャンピングボール/光通信
 ヨットはなぜ進む/ピカチュウと手をつなごう
 縄跳び発電/風船ホバークラフト
 光ファイバーの不思議/トライアングルミラー



4. おわりに

入場の小学生の中に、土曜の開催から終わるまでさらに翌日曜は弁当持参で楽しんでくれた子が何人もいた。単なる「理科嫌い・理科離れ」ではない・・・と、要するに日常において理科を楽しむ機会が足りないんだと痛切に感じた。また、今回のスタッフの大半は教職員ではなく一般のお父さん方と高校生であった。専門とはほど遠い分野でありながら、担当テーマを成功させるためにお互い知恵を絞り、随分と勉強し、かつ感動して楽しんでいたのが印象的だった。小中学校の先生方の積極的な参加・協力がなかったことが非常に残念だった。課題として、来年はどうするか・・・!これはこれからスタッフと検討することになる。